

# 4 <sup>かばと</sup>樺戸山系を治め石狩川の氾濫を鎮めた石狩川地区民有林 直轄治山事業

つぎがた うらうす  
北海道（月形町・浦臼町）

事業着手直後（昭和50年頃）



現在（平成24年）



航空実播工実施状況（平成3年）



山腹工実施状況（平成8年）



低ダム群設置状況（平成10年）



## ○所在場所

北海道樺戸郡月形町・浦臼町

## ○施設・工法の概要

溪間工410基（低ダム群を含む）、山腹工65ha（航空実播を含む）

## ○解説

北海道開拓が始まった明治以降に河川の氾濫と土砂流出の被害を繰り返し受けていました。

このため地域住民の強い要請を受けて不安定土砂の抑止軽減を目的に大規模な治山事業を継続的に実施するため、北海道初の民有林直轄治山事業として昭和46年に事業着手しています。

それぞれの地域特性に応じた最適な工法を採用し、急峻な稜線から中腹にかけて散在する山腹崩壊ではヘリコプターによる航空実播工を実施し、流路が安定しないために荒廃した溪床では流路規制のための低ダム群工法を採用しています。

位置図

